

令和元年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立沼津聴覚特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立沼津聴覚特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	45名

1. 使用状況

寄贈物品名	ミニダンボすべり台
使用学年及び人数	乳幼児クラス、幼稚部 25名
使用頻度	学期期間中ほぼ毎日
使用状況	本校中庭に設置しており、乳幼児クラス1・2歳児が保護者とともに遊んだり、幼稚部幼児が自由あそびの時間や休み時間に遊ぶ遊具として使用しております。
物品の使用による変化や効果	自分の力で安心して登ったり滑ったりすることができるため、繰り返し滑ることを楽しんでおります。滑り台で遊ぶために、順番に並ぶことができるようになってきました。また、子供同士の関わりが増えてきました。
今後の活用の見通しや課題	従前の滑り台は経年劣化による腐食や破損が見られたため使用制限をしておりましたが、現在は安全を確保しながら自由に遊ぶことができるようになりました。 引続き、乳幼児、幼稚部児童の遊び時間に活用し、外で活動する楽しさが感じられるように遊びに誘っていきたいと思います。
その他希望や所感など	今後も大切に使用させていただきたいと思います。御支援いただきましてありがとうございました。

2. 活用の様子

幼稚部幼児 遊びの様子

